

一般会計

Q 市民1人あたりになるといくら使われているの？

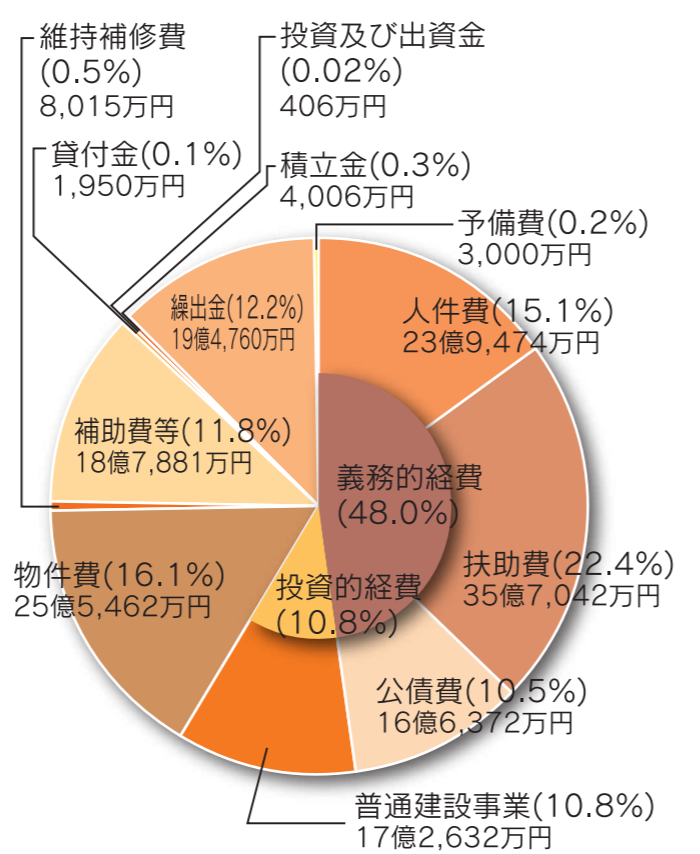
A 市民1人あたり、約37万円になります。
(平成29年1月1日現在の常住人口：42,933人)

■一般会計・歳入		■一般会計・歳出(性質別)	
項目	金額(円)	項目	金額(円)
市税	123,462	義務的経済費	
■一般会計・歳出(目的別)		人件費	55,778
項目	金額(円)	扶助費	83,163
議会費	4,896	公債費	38,752
総務費	38,272	投資的経費	
民生費	134,847	普通建設事業費	40,210
衛生費	25,680	災害復旧事業費	0
労働費	536	その他経費	
農業費	16,894	物件費	59,503
商工費	3,867	維持補修費	1,867
土木費	43,279	補助費等	43,761
消防費	16,711	積立金	933
教育費	46,144	投資・出資金	94
災害復旧費	0	貸出金	454
公債費	38,752	繰出金	45,364
予備費	699	予備費	699
計	370,577	計	370,577

市に納めていただいた税収約12万円に、国や県の補助金などを加えた金額を財源として、1人あたり約37万円の事務事業が行われます。

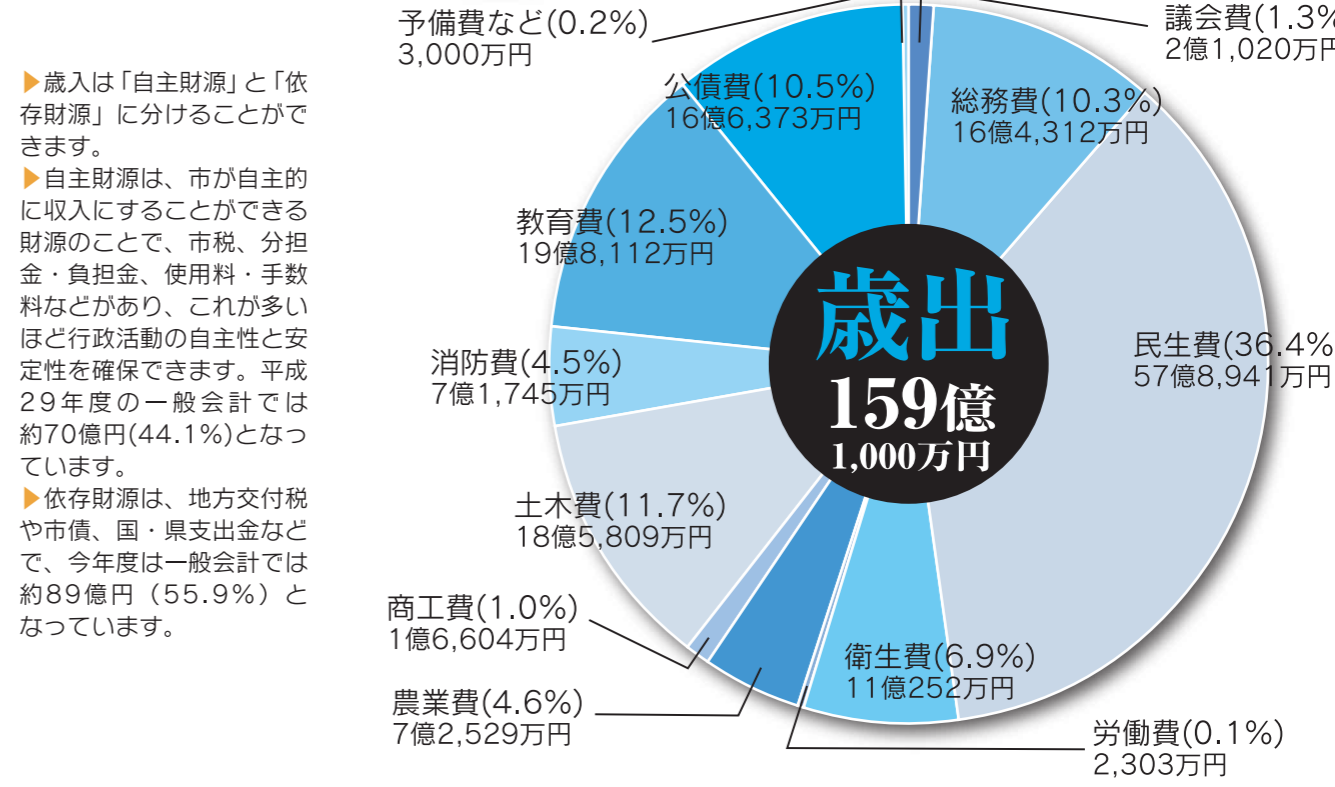
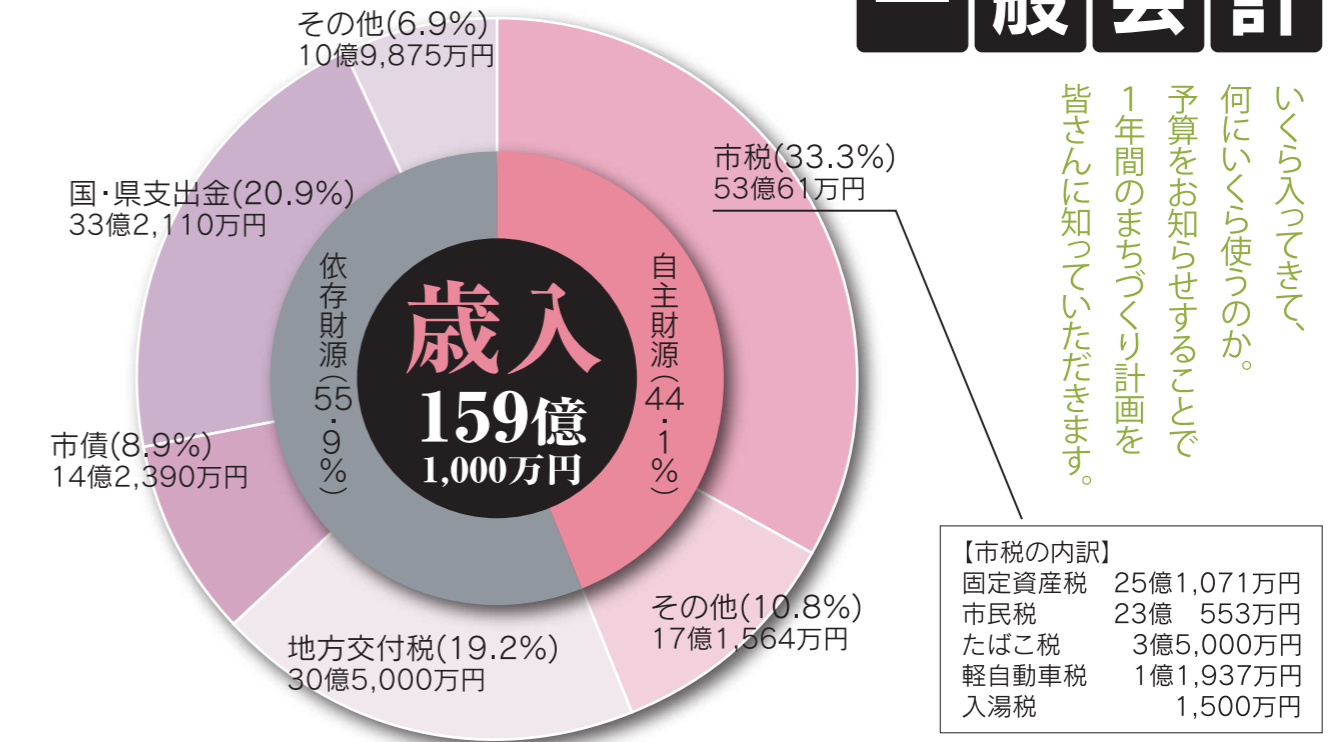
歳出(性質別)

159億1,000万円



義務的経費…議員の報酬や職員の給与、扶助費、市債の返済など、毎年必ず支出しなければならないお金

投資的経費…道路、学校などの建設や大規模改修など都市基盤の整備にかかるお金



▶歳入は「自主財源」と「依存財源」に分けることができます。

▶自主財源は、市が自主的に収入にすることができる財源のことで、市税、分担金・負担金、使用料・手数料などがあり、これが多いほど行政活動の自主性と安定性を確保できます。平成29年度の一般会計では約70億円(44.1%)となっています。

▶依存財源は、地方交付税や市債、国・県支出金などで、今年度は一般会計では約89億円(55.9%)となっています。

いくら入ってきて、何にいくら使ったのか。予算をお知らせすることで1年間のまちづくり計画を皆さんに知っていただきます。

【市税の内訳】

固定資産税	25億1,071万円
市民税	23億553万円
たばこ税	3億5,000万円
軽自動車税	1億1,937万円
入湯税	1,500万円

歳入
自主財源
市税：市民の方から市に納めていただく税金
その他の自主財源：分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰入金、財産収入、寄附金、繰入金、諸収入など

依存財源
地方交付税：国が集めた税金から、全国の地方自治体が一定水準の行政を確保できるように財政力の低い団体に交付されるお金
国県支出金：特定の目的のため、国や県から交付されるお金
市債：特定の目的のため、国や銀行から借入れるお金
その他の依存財源：地方譲与税、地方消費税交付金、地方特例交付金、利子割・配当割交付金、交通安全対策特別交付金、株式等譲渡所得割交付金など

歳出
議会費：議員の報酬や議会の運営に
総務費：市政全般の管理に
民生費：高齢者・障害児者・児童などの福祉、保育所などに
衛生費：健診や予防接種、ごみ処理などに
労働費：労働者のための施設の設置管理などに
農業費：農林業の振興、農道整備などに
商工費：商工業の振興や観光推進などに
土木費：道路・河川・住宅・公園などの公共施設の整備や維持管理などに
消防費：火災や地震、風水害対策や消防施設に
教育費：学校や体育施設の建設管理、生涯学習、文化財保護などに
公債費：市債の返済金
予備費：緊急に支出を要する場合に使用

歳出(性質別)
人件費：議員の報酬や職員の給与などに
扶助費：生活保護費、障害者支援費などの福祉や医療に
公債費：事業を行うために国や金融機関から借り入れた市債(借金)の返済金
普通建設事業費：道路や学校などの整備に
物件費：光熱水費や消耗品費、通信運搬費、委託料などに
維持補修費：施設などの維持管理に
補助費等：一部事務組合に対する負担金や各種団体への補助金など
積立金：各種基金(貯金)へ積み立てるお金
投資及び出資金：水道事業会計への出資金など
貸付金：市が一時的に貸し付けられるお金
繰出金：国民健康保険や介護保険などの特別会計の収入を補うためのお金
予備費：緊急に支出を要する場合に使用

用語の説明